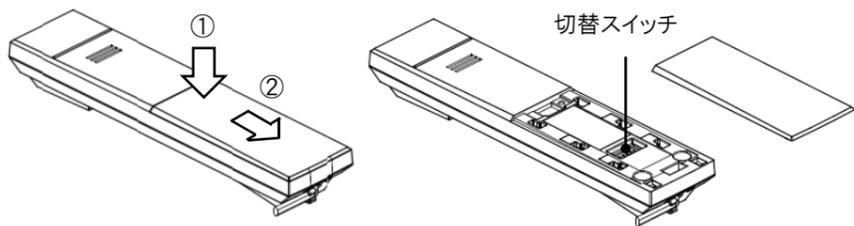


各種スイッチの設定方法

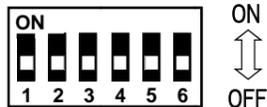
切替スイッチを用途や設置環境に合わせて設定してください。

スイッチカバーの開け方

[①矢印]部分を押しながら[②矢印]方向へスライドさせます。



切替スイッチの位置及び設定



切替スイッチ対応表

No.	名称	機能	(初期値) OFF側	ON側
1	受話 VOL	受話音量(大/小)切替	小	大
2	PBX/CO	PBX 内線接続時、送話レベル・側音レベル調節	CO	PBX
3	DP/PB	回線種別(DP/PB)設定	PB	DP
4	着信感度	ブランチ接続時の共鳴防止機能	OFF	ON
5	着信 VOL	着信音量(大/小)切替	小	大
6	ML	PBX 内線接続時、メッセージ・ランプ機能切替	OFF	ON

電話をかけるとき

- ①ハンドセットをとり「ツー」という発信音を聞いてから、相手の方の電話番号をダイヤルします。
- ②相手が出たら、お話しください。

シグナルチェンジのしかた

ダイヤル信号(DP)でお使いの時に、「*」ボタンを押すと、ダイヤル信号からプッシュ信号に変わりますので、プッシュ信号による各種サービスが受けられて便利です。ハンドセットを置くと自動的にダイヤル信号にもどります。(プッシュ回線をお使いのときは、上記操作は不要です。)

電話がかかってきたとき

外から電話がかかってくると「ルルル……」という着信音が聞こえます。ハンドセットをとってお話しください。

着信音量をかえたいとき

スイッチカバーを開けて「着信 VOL」切替スイッチで着信音量を、2段階に替えることができます。

受話音量をかえたいとき

スイッチカバーを開けて「受話 VOL」切替スイッチでハンドセットの受話音量を2段階に替えることができます。

側音の調節

PBX(構内交換機)によっては、側音が大きくなる場合があります。その際は、スイッチカバーを開けて「PBX/CO」切替スイッチをPBX側に切り替えてお使いください。〔側音が小さくなります。〕

フッキングボタンの使いかた(HKのみ)

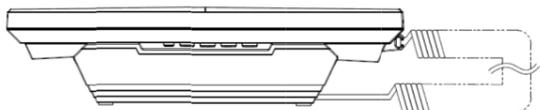
フッキングボタンを押すと(押している時間に関係なく)、約600msだけ回線を切断します。転送機能等をフッキングで行うPBXの内線電話機として使いますと、確実なフッキングができるので便利です。

電話を切るとき

ハンドセットをクレードルに置いてください。

使用上の注意

- 共同電話・公衆電話にはご使用になれません。
- ダイヤルしたとき、ブランチ接続した他の電話機のベル音が鳴ることがありますが、故障ではありません。
- 通話しないときは、ハンドセットがクレードルの溝に合うように正しい向きで確実に置いてください。



かけ忘れり、ハンドセットの下にコードや物がはさまっていると、通話料金が加算されたり、着信があってもベルが鳴らず、他の通話のさまたげとなることがあります。

- 本電話機と他の電話機とでブランチ通話のときは、電話機の種類や電話局からの距離によって通話ができなくなることがあります。その際は片方のハンドセットをおろしてください。通話ができるようになります。
- 本電話機内には磁石があります。クリップや安全ピンなど小さな金属類を引きよせるため近くに置かないでください。また、磁力を帯びている物から遠ざけてご使用ください。
- 受話器コードは本電話機専用となります。他の商品の受話器コードやハンドセットに付け替えないでください。また電話機コードも付属のコードを使用してください。
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通話などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済障害につきましては、当社は一切その責任をおいかねますのであらかじめご了承ください。
- この取扱説明書の内容、機能および外観について予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容を無断で転載・複製することは禁止されています。

電話機コードの接続

電話機コードのコネクタを取付口に「カチッ」と音がするまで確実に差し込んでください。電話機コードは受話器コードと同じ方向または別の方向のどちらからでも配線することができます。電話機コードは、クレードル底面にあるコード溝に通してご使用ください。

受話器コードと電話機コードを
同じ方向から出す場合

受話器コードと電話機コードを
別々の方向から出す場合

